

# こころをつなぐまちづくり



人権シリーズ vol.125

## こんにちは 隣保館です

隣保館は「地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題解決のための各種事業を総合的に行う」ことを目的としています。平成28年現在、全国で796館、県内では13館あり、国東市では武蔵町に設置し市が運営しています。



就職、結婚、年金に関すること、さまざまな生活上の問題など、困りごとの身近な相談窓口として対応しています。また、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に関する講演会や学習会などを開催し、問題の解決に向けて一緒に考えていくきっかけづくりとしています。

さらには、毎年8月には隣保館まつりを開催し、主催教室生や館利用者を中心に子どもから高齢者までが集い、一人ひとりの人権を認め合うことに気づく場となっています。そして、2012年には「隣保館のうた」を作成しました。

なお、文化・教養講座として下記のような教室を開催しています。どなたでも参加できますので気軽にお問合せください。

絵手紙教室 / 女声コーラス教室 / フォークダンス教室 / 尺八教室 / 生花教室 / カラオケ教室

### \* 第10回国東市隣保館まつり(8月27日開催)



今年で第10回となる国東市隣保館まつりが8月27日(土)開催されました。晴天にめぐまれ参加者は約550名と大勢の人でにぎわいました。人権講演会は、「子どもから学んだ大人の世界～大人が変われば子どもが変わる～」と題して元教育長山本泰光さんにお話しいただき、その後、教室生の発表や作品展示、お茶席、屋外では模擬店、児童館のお店、駄菓子屋さん、バザーのほかピエロによるバルーンアートなどがあり、10回記念として「もちまき」が行われました。多くの方がふれあい、お互いを認め合い、人権について考えるきっかけづくりができた一日となりました。

【問合せ】国東市隣保館(武蔵町古市1138-1) ☎0978-68-1722

## マイナンバーに関するお知らせ

通知カードまたはマイナンバーカード(個人番号カード)を大事に保管していますか。これらのカードは、自分のマイナンバー(個人番号)が記載された大切なものです。行政の手続きをはじめ、日常のいろんな場面でマイナンバーが必要になります。

左 通知カード

右 マイナンバーカード(個人番号カード)

【問合せ】市民健康課戸籍住民係 ☎0978-72-5166



## 市長室からごんたちは

### 市長日記

#### 「神の舞」

8月20日の早朝午前7時、はつ満員の乗客を乗せて第一姫島丸が国見町伊美港を出港しました。早朝7時と言っても夏の太陽は、既に東の中天に上り容赦なく照りつけてきます。天気晴朗。静かな海を船は一路山口県祝島を目指してひたすらに進んでいきます。

私達は、千年余りも続く「神舞」神事の最終日「出船神事」を見学するためこの船に乗り込んだのです。「神舞神事」は、説明によると「仁和二年(886年)に豊後国伊美郷の人々が伊美別宮社創建のため、山城国(現在の京都府)の石清水八幡宮からご分霊を奉じての帰途、嵐に遭遇し、祝島に避難。一行を手厚くもてなした島民へのお礼に農耕を教えたこと、島が大変豊かになった。そこで祝島の人はそれを感謝し、4年に一度、島の代表者が伊美別宮社に参拝し、別宮社の神職と里業師を島に迎え、神楽奉納を行うようになった。」とのことで、別宮社に迎えに行く神事を「入船神事」、祝島から送るのを「出船神事」と言うそうです。

現在では、8月16日に「入船」、20日に「出船」を行っています。この間の5日間、島をあげて伊美の人々と神様に感謝して神楽を奉納するのです。

祝島に上陸してみると、小さい港のす

国東市長 三河 明史



ぐそばに木材と竹を組んで、茅を編んで屋根を葺いた「仮神殿」が作られています。その舞台の上で神楽が奉納され、下には、御座やビニールが敷かれ、多くの見物客が詰め掛けています。

最終日の今日も、暑い中を鬼の面を被った荒鬼達が神楽を奉納しています。荒鬼達は、舞台の柱によじ登って紙吹雪をまいたり、下に降りて来ては、子供を抱き上げたりしています。泣きだす子供もいればキョトンとしている子供もおり、その度に歓声が上がります。

そうして5日間にわたる「神舞神事」は終わりました。最後に別宮社の宮司が、とても粋な挨拶をされました。「伊美と祝島は、1と1(愛と愛)です。これからも伊美祝(好い)仲を続けます。」

「出船神事」は、飾り付けた「御座船」とこれも飾り付けた10艘ほどの見送りの船が別れを惜しむかのように港の周囲を三度回った後、祝島を離れるのです。見物の老人が「昔は、100艘程の船が見送ったものじゃが」とつぶやいていました。

現在、島には400人ほどしか住んでいないそうで、千年余りも続いできたと言われるこの伝統の祭りもどこまでかこの地域も過疎化と高齢化の中で伝統の祭りや行事が消滅の危機に瀕しています。そういう状況の中でも何とか頑張っています。

## 図書館だより どくしょがいちばん!

問合せ先	
国見図書館	☎0978-82-1585
くにさき図書館	☎0978-72-3500
武蔵図書館	☎0978-69-0946
安岐図書館	☎0978-67-3551

図書館の役割のひとつとして地域情報の収集と保存があります。そこで図書館では新聞に掲載された国東市に関する記事をスクラップして保存しています。(旧・国東町の記事は2003年から。国東市の記事は2006年4月から)

国東で行われた行事・起こった事件や事故・スポーツ大会の結果・読者投稿・文芸欄など様々な記事を保存していますので、知りたい・調べたいことがあればぜひご利用ください。なお、保存場所はくにさき図書館のみですが、各図書館で見出し検索ができますので詳しくは職員へお問い合わせください。



▲スクラップはくにさき図書館に保存しています

### 司書のオススメ

#### 『夏井いつきの超カンタン! 俳句塾』

芸能人の俳句を査定するテレビ番組で毒舌先生として人気の夏井いつきさん。この本では「100年俳句計画」を志し掲げ、俳句の楽しさ、豊かさを広めるために活躍されている夏井さんが俳句の魅力や作句のポイントをわかりやすく解説しています。一般人の応募してきた句に対する添削実例をあげ具体的なテクニックを紹介するほか、第一部では脳科学者の茂木健一郎さんとの対談で俳句の効能を脳科学的に説明しています。俳句に興味はあるけど敷居が高くて…と躊躇している方におすすめしたい1冊です。

### 図書館に寄つちよくね

Q.「私はその人を常に先生と呼んでいた。だからここでもただ先生と書くだけで本名は打ち明けない」で始まる夏目漱石の小説のタイトルは? 答えは図書館で!